

平成31年度使用

中学校道徳科用図書採択に関する調査委員会報告書

高岡地区教科用図書調査委員会

(第2号様式)

平成31年度使用中学校教科用図書に関する調査研究方針

1 基本条件

選定される教科用図書は、教育基本法に定める教育の目的、目標並びに学校教育法に定める学校の目的及び教育の目標に基づき、我が国の現状と伝統について正しい理解に導くとともに、政治や宗教に対し公正であり、自主性を培い、人間性豊かな児童生徒の育成に役立つ内容であること。

2 必要条件

- (1) 学習指導要領の総則に示された教育課程編成の一般方針や各教科の目標・内容等を適切に反映するように、十分な配慮がなされていること。
- (2) 内容や表現等にかたよりがなく全体として調和がとれ、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、思考力・判断力・表現力等を育成するための質・量両面の充実がなされていること。
- (3) 児童生徒が意欲的に学習に取り組むための配慮・工夫がなされていること。
- (4) 内容、表現、分量、配列などが児童生徒の心身の発達段階に適応していること。

(第3号様式)

平成31年度使用中学校教科用図書に関する調査方針の報告書

種目	道 徳	調査対象教科用図書種類数	8
調 査 方 針	<p>選定される教科用図書は、教育基本法に定める教育の目的、目標並びに学校教育法に定める学校の目的及び教育の目標に基づき、我が国の現状と伝統について正しい理解に導くとともに、政治や宗教に対し公正であり、自主性を培い、人間性豊かな児童生徒の育成に役立つ内容であること。</p>		
調 査 対 象 図 書	教科用図書名	発行者番号	発行者略称
	新しい道徳	2	東書
	輝け 未来 中学校道徳	1 1	学図
	中学道徳 とびだそう未来へ	1 7	教出
	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	3 8	光村
	中学道徳 あすを生きる 道徳ノート	1 1 6	日文
	中学生の道徳 明日への扉	2 2 4	学研
	中学生の道徳 自分を見つめる 中学生の道徳ノート 自分を見つめる 中学生の道徳 自分を考える 中学生の道徳ノート 自分を考える 中学生の道徳 自分をのばす 中学生の道徳ノート 自分をのばす	2 3 2	廣あかつき
	道徳 中学校 生き方から学ぶ 道徳 中学校 生き方を見つめる 道徳 中学校 生き方を創造する	2 3 3	日科

(第4号様式)

平成31年度使用中学校教科用図書に関する調査方針の報告書

種目	道徳	教科用図書名	新しい道徳
発行者番号	2	発行者略称	東書
<p>○「人生や生活に生きて働く道徳性」を育成するために、3つの基本方針（①人間としての生き方を深く考える ②見通しと振り返りを設定し、生徒が主体的に学習に取り組む ③考え議論することを通して、確かな道徳性を育む）を掲げて編集されている。</p> <p>○いじめの直接的な場面について多く取り上げたり、震災について取り上げた教材を各学年に配置したりする等、現代的な課題について系統的に考えを深めていけるよう工夫されている。</p> <p>また、巻末には「自分の学びを振り返ろう」として、自己の道徳性の変容や成長を確認し、意欲的に次学期の学習に向かうためのページが設けられている。</p> <p>○いじめ問題や生命尊重に関する教材をユニット形式にすることにより、多面的・多角的に考えられるようにしている。</p> <p>また、各教材の冒頭に主題が示され、思いや考えを記述できる「つぶやき」のスペースを設けたり、「考えてみよう！」として、主題に対して投げかけたりすることにより、考え議論する方向へと導く工夫がなされている。</p> <p>○「ACTION! (アクション)」のページが各学年に2か所設けられており、メインの教材と併せて役割演技等の体験的な学習を通しての話し合いや、生徒が主体的に考えられるよう工夫されている。</p> <p>また、全教材の冒頭にテーマが設定され、漫画も盛り込みながら問題が提起されることにより、どの教科においても問題解決的な学習を進めやすいよう配慮されている。</p> <p>○巻頭に、「道徳の時間はこんな時間に」と題して、学びに向かうための方法を示している。巻末には、ホワイトボード用紙や心情円が設けられており、生徒が話し合い活動の際に活用できるよう配慮されている。</p>			

種目	道徳	教科用図書名	輝け 未来 中学校道徳
発行者番号	1 1	発行者略称	学図
<p>○未来の社会の形成者としての知識・教養，豊かな情操と道徳心を培うため，「大切にしたい四つのつながり（①命 ②人・社会 ③世界・文化 ④自然）」を念頭に，「何を，どのように学ぶのか」を明らかにして編集されている。</p> <p>○先人の伝記に加え，現在も活躍している著名人を扱った教材が多く取り上げられており，生徒の興味や関心を高めるとともに，そのような人々の生き方を通して，生き方や生きることの魅力について考えられるよう配慮されている。</p> <p>また，学びの記録のページを設け，教材ごとに学びを記入し，自己の道徳性の変容について実感することができるよう工夫されている。</p> <p>○各教材の冒頭に内容項目を示し，最後には「学びに向かうために」として，多面的・多角的に深く考えるための手引きの欄が設けられている。</p> <p>また，ものの見方や考え方をより深めていけるよう，教材と併せて，全ての内容項目について「心の扉」のページが設けられており，道徳的価値の理解のための視点と記述欄で構成された内容が盛り込まれている。</p> <p>○独立した「型」にこだわらないという考え方のもと，問題解決的な学習や体験的な学習等を取り出して扱うのではなく，「学びに向かうために」での発問や投げかけの中で役割を分担したり，どこに問題があったと思うのかを考えさせたりする要素が取り入れられている。</p> <p>○ユニバーサルデザインや特別支援教育に対する配慮として，文字を大きくしたり，注釈を多く入れたりするよう工夫されている。また，巻末に「保護者の方へ」のページを設け，家庭との連携を意識した内容が設けられている。</p>			

種目	道徳	教科用図書名	中学道徳 とびだそう未来へ
発行者番号	17	発行者略称	教出
<p>○「主体的・対話的な学びを通じた豊かな道徳性」「次の時代を切り拓いていく力」「人の生き方に学びながら、自分自身をみがき高めていく意欲」「平和を愛し、伝統や文化を尊重する心」の育成の4点を基本方針として編集されている。</p> <p>○現代社会の課題やいじめの問題についての教材が多く取り上げられており、発達段階に応じて生き方や生きることの魅力について考えられるよう配慮されている。</p> <p>また、巻末に振り返りのページを設けることで、自分自身の変化や成長を見取り、これからの自分を想定して次学年での学習へつなぐ工夫がなされている。</p> <p>○各教材には「導入」と「学びの道しるべ」を設けており、生徒が見通しをもち、多面的・多角的に考えたりする際の助けとなる発問が示されており、道徳的価値をより深く考えられるような工夫がなされている。</p> <p>全学年の巻末に、各都道府県にゆかりのある人物とその言葉が掲載され、自己の生き方についての考えを広げていくことができる工夫がなされている。</p> <p>○問題解決的な学習場面として、生徒を取り巻く環境や課題に即した教材、社会問題を素材とした教材を多く取り入れ、自分自身の考えやその根拠を問い、どうあることがよいのかについて考えを深めていく配慮がなされている。</p> <p>また、体験的な学習として、役割演技を取り入れたり、日々の体験を想起して話し合ったりすることができるように、「やってみよう」というページが設けられている。</p> <p>○さまざまな学校行事や体験活動等との連携をはかり、生徒が興味・関心をもち身近に捉えやすいような教材の配列がなされている。また、1時間1教材とし、コラムなどは極力つけずに学習内容を焦点化している。</p>			

種目	道徳	教科用図書名	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき
発行者番号	38	発行者略称	光村
<p>○生徒自身が「考えたくなる」「語り合いたくなる」「動きだしたくなる」学習になるように編集されている。また、学習全体を通して「生命の尊さ」を基盤とし、自分・他人・社会・自然の観点から「命」を大切に思う心に重点が置かれている。</p> <p>○先人や著名人の生き方や、スポーツを通して生徒の心を捉える教材を多く取り上げる等、教材選択についての工夫がなされている。</p> <p>また、さまざまな地域の題材や伝統文化を取り扱った教材も取り上げ、生徒が主体的に道徳的価値についての考えを深められるような配慮がなされている。</p> <p>○全学年を通して、「いじめ問題」「情報モラル」に結びつく教材をコラムと組み合わせ設定する等、今日的な課題について系統的に考えを深めていけるよう工夫されている。</p> <p>全学年に、「なんだろう なんだろう」を設け、道徳的価値について、考え議論できる工夫がなされている。また、「泣いた赤おに」など小学校の教材を取り上げ、今の考えを改めて語り合い、深い学びにつなげるよう工夫されている。</p> <p>○問題解決的な学習が多く取り入れられ、「考える観点」「見方を変えて」「つなげよう」等の学習の手引きが設定されており、道徳の学びがその時間のものだけでなく、さらに深く考えたり行動につなげたりできるよう工夫されている。</p> <p>また、生徒が「学びの記録」をつけることによって、教師が長期的に生徒の成長を見取り、評価の資料として活用できる配慮がなされている。</p> <p>○学校生活や生徒の成長を考慮して、年間の学習内容が4つのまとまりに分けられている。巻頭詩から始まり、各とびらページの語りかけ等、等身大の気持ちを取り入れることによって、生徒の成長につなげる構成の工夫がなされている。</p>			

種目	道徳	教科用図書名	中学道徳 あすを生きる 道徳ノート
発行者番号	116	発行者略称	日文
<p>○「主体的な学びを」「授業に躍動感を」「社会を創造する道徳教育を」の3点を基本方針とし、「自ら考え、学び、一人ひとりが誇りを持った生き方」「『考え、議論する』道徳科となる対話的な学び」「『いま』・『これから』の社会問題に対応する深い学び」をサポートするよう編集されている。</p> <p>○「いじめ」を直接的・間接的に扱った複数の教材やコラムを組み合わせ、「いじめ防止」の内容を集中的に考えるための期間が、発達段階や時期に合わせて位置づけられている。</p> <p>別冊「道徳ノート」には、新しく発見した道徳的価値の理解や、他者から学んだ内容を書き留めることができるようになっている。ノートの活用により生徒自身が学習を振り返り、3年間の成長を実感できるよう工夫されている。</p> <p>○教材名の下に主要な人物を明確に示すことで内容把握を容易にし、生徒が深く考え、議論する時間を確保するよう工夫されている。</p> <p>また、生徒の豊かな考えを引き出し、議論を活発にすることができるよう、教材の後に考える価値のある発問例「考えてみよう」や、前向きに自分に生かすための発問例「自分にプラスワン」が提示されている。</p> <p>○「学習の進め方」のページでは、問題解決的な学習に資するよう、主体的にとらえ、多面的・多角的、かつ解決に向けて考えていくステップが例示されている。</p> <p>また、体験的な学習に適している教材には、動作化や役割演技などの体験的な方法を通して学習を深める手立てが示されている。</p> <p>○生徒の発達段階を考慮した内容とし、年間を通じて「導入期」「発展期」「充実期」の3段階で配列がなされている。また、系統的・発展的に学習できるよう各学年のテーマが設定されている。</p>			



種目	道徳	教科用図書名	中学生の道徳 明日への扉
発行者番号	224	発行者略称	学研
<p>○肯定的、積極的なものの見方、考え方、感じ方で、心豊かに生きていく「プラス思考」と、未来に目標を定め、夢や希望をもって、力強く歩み出す「未来志向」を備えた生徒の育成を目指して編集されている。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックに関連する人や題材、様々な分野で活躍している人々や功績を残した先人を数多く紹介し、生き方のモデルとして示している。 また、各学年において、情報化への対応等現代的な課題に関する教材を豊富に取り上げており、様々な面から道徳的価値を学習することができるようになっている。</p> <p>○生徒が自ら主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うため、主題名を教材中に記載しない等、生徒の問題意識を大切に工夫がなされている。 また、考え方の選択肢を増やす「クローズアップ」、視点や内容項目の異なる関連情報によりさらに視野を広げる「クローズアッププラス」を設け、学びを広げ深める工夫がなされている。</p> <p>○問題解決的な学習が可能な教材を豊富に取り上げたり、特設ページ「深めよう」において学習の筋道を提示したりして、主体的・対話的で深い学びを実現させるための工夫がなされている。 また、特設ページ「深めよう」において、役割演技などを通して道徳的行為に関する体験的な学習ができるよう工夫されている。</p> <p>○A4の判型で、視覚的にとらえやすく、ゆったりした紙面構成になっている。 写真、事例、データ等を多く取り入れ、多角的に思考を広げられるよう工夫されている。</p>			

種目	道徳	教科用図書名	中学生の道徳 自分を見つめる 中学生の道徳ノート 自分を見つめる 中学生の道徳 自分を考える 中学生の道徳ノート 自分を考える 中学生の道徳 自分をのばす 中学生の道徳ノート 自分をのばす
発行者番号	232	発行者略称	廣あかつき
<p>○豊かな自己の形成を図るため、ともに考え、話し合うための本冊（教材）と自分を見つめ、考え、のばすための別冊（ノート）の2分冊で構成している。2冊の相乗効果で新時代を生きる生徒の豊かな情操と道徳心を養うことを基本方針としている。</p> <p>○各学年の巻頭ページに各学年の発達段階に応じたメッセージがあり、道徳の時間を通して自己を見つめたり、在り方や生き方について考えを深めていこうとする意欲を喚起する工夫がなされている。</p> <p>また、2年生では延命措置等に関する教材、3年生では臓器提供意思表示カードに関する教材を配置するなど、現代的な課題を扱い、生徒に深く考えさせるものになっている。</p> <p>○教材ごとに考えたり話し合ったりする手がかりとなる内容が「学習の手がかり」として記されており、生徒が主体的に学ぶための工夫がなされている。「考えを広げる・深める」という内容も示すなど、多面的・多角的な見方を促している。</p> <p>また、別冊の道徳ノートは、内容項目にかかわる問いに答えることを通して自己理解を一層深めたり、これからの生き方について考えを広げる工夫がされている。</p> <p>○問題解決的な教材は、1年生に多く取り上げられており、自分たちの生活と直接結びつく内容となっている。また、疑似体験活動が可能な教材も多く取り上げられている。</p> <p>別冊の道徳ノートの巻末には「心のしおり」が設けられており、自己評価を行って自分の成長を実感したり、課題や次への目標を見出すきっかけができるよう工夫されている。</p> <p>○発達段階を踏まえ、1年生は文字が少し大きく、短いものや内容のわかりやすいものから始まっている。各教材がA～Dのどの視点に当てはまるのかを記し、別冊ノートとの関連をわかりやすくしている。</p>			

種目	道徳	教科用図書名	道徳 中学校 生き方から学ぶ 道徳 中学校 生き方を見つめる 道徳 中学校 生き方を創造する
発行者番号	233	発行者略称	日科
<p>○出会い、ふれあい、みがき合う道徳科教科書として①道徳的諸価値の理解を基に生み出される価値観の多様性、②道徳性育成に向かう「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現、③道徳教育の系統性と体系化を支える教材を基本方針としている。</p> <p>○1年生は「自己理解」をテーマとした自分の個性や能力を考える教材、2年生は「自己啓発」をテーマとした自分のよりよい成長について考える教材、3年生は「自己実現」をテーマとした社会における自己の役割を考える教材があり、学年の系統性や発達段階を踏まえた教材を配置している。</p> <p>また、先人の気高い生き方から生きる勇気や知恵等を感じることができる教材も多く設定されている。</p> <p>○2年生及び3年生において「障害者差別解消法」を題材として合理的配慮について考えることができる教材が設定されており、価値観の多様性について知り、見方や考え方を広げることができるよう配慮されている。</p> <p>また、「考えてみよう」等のコラムにより、人としての生き方や集団及び社会とのよりよい関係について自分の考えを広げ、深めることができるよう工夫がなされている。</p> <p>○教材文の最後が「でも・・・」と途中で終わる仕掛けをしたり、生徒の思考を揺さぶる問いを設定したりすることで、生徒たちの主体的・対話的な学習が進む工夫がなされている。また、1年生では3枚の絵を見て考えを出し合うことにより、生徒の関心や意欲を喚起し、議論が起こりやすい教材が示されている。</p> <p>○各学校の特色によって自由に教材を生かす意図で内容項目順に教材が配列されている。表紙をはじめ、教材にも実際の写真が多く使用されており、生徒の心を動かし考えやすい状況を生み出す工夫がなされている。</p>			